

東京電機大学同窓会
平成 20 年度第 4 回幹事会議事録

20081022

会議開催日時	平成 20 年 10 月 22 日 (水) 18:30~20:20
開催場所	神田キャンパス 10 号館 校友会 6F 会議室
参加者 (順不同)	村田耕治、本橋光也、小林幸宏、橘 敏彦、相原浩一、吉田典久、 三好守眞、米田守重、野崎 隆、石崎泰司、長坂健一郎、林 博文、 福田文夫、千葉公胤、江頭勝己、枘川重男、西村一郎、野島健之助、 鈴木迪子、柏崎尚也、前田 治、内山智裕、高見澤計夫 校友会：稲毛通男、小宮耕一郎 東京電機大学学長 古田勝久
配布資料	1. 20 年度 第 4 回幹事会レジメ 2. 工学情報 2008 秋号 3. 準学生会員支援委員会資料 4. 事業委員会資料 5. 総務委員会資料 (収支決算書) 6. 熱海温泉親睦旅行会案内 7. 鳩山祭「卒業生談話室」開設のご案内 8. 平成 20 年度丹羽賞・同窓会奨励賞受賞団体一覧
議事内容	記録者：高見澤 計夫

I. 会長挨拶

1. 開会の挨拶、および古田学長の紹介が行われた。

II. 東京電機大学学長 古田勝久様との懇談

PPT を用いてお話いただいた。

(主旨)

- 1) 自身の学位と併せれば 3 つ目となるが、ヘルシンキ工科大学とカリン工科大学から名誉学位を頂戴した。国家プロジェクトである 21 世紀 COE を理工学部で立上げ、カリン工科大学の協力を得て、介護ロボット、カプセルロボットなどの研究 (HAM) を行なった。
- 2) 自動制御の研究者である。傘を立てにまわすと立つ言う倒立振子の技術が、セグウェイに応用されているが、その制御に関する開発を行った。政府の援助を受け、地雷探知技術の開発を行い成果がクロアチアで実施されている。
- 3) 2002 年に事前指導から認証を受ける事後評価制になった。学園全体で評価を受ける方向で進んでいる。
- 4) TDU 卒業生は、変化に対応可能で国際化に対応でき、しかも自立性とコミュニケーション能力を持ったインテリジェンスな技術者となってほしい。企業家としての自信を持った人間を育てることが出来る大学と思っている。
- 5) 生涯学習ができ、それを基礎として環境・科学技術の変化に対応しうる技術者となるための質の保証としての基礎・基盤知識を強化できる教育を目指す。
- 6) 理工系大学教育の期間が 6 年制と長くなってきている。通信制や夜間の修士課程まで進む学生が増えている事は喜ばしい事であるが、特に女性の理工学部志望が増える事を願っている。見える技術者となるような手助けが出来れば良いと考えている。
- 7) 67,000m² の広さを持つ北千住への移転は、駅から 1 分という近さで 6 本のアクセス手段があり交通の便から考えて立地条件は良好と言える。
- 8) 歴史のある大学の多くは建物などの老朽化問題を抱えており、耐震化やリニューアルあるいは建て替え等で行き詰っている。そっくり移転すると言うことで、学園発展の起爆

剤となりうるものとして期待している。

- 9) 基盤を強化する事で社会人教育の一環として、日本の科学技術の発展に寄与できると考えている。卒業生・学生が中心である事を基に、将来性のあるいい学校であると言う事に誇りを持って、熱意を持って教育していく教員を多くした。

Ⅲ. 幹事会議題

1. 委員会の活動報告

(1) 規定検討委員会 (野崎委員長)

- ・委員会を開催していないため報告はなし。

(2) 広報委員会 (相原委員長)

(口頭報告)

- 1) 次回の「大学同窓会前会長を囲んで」は、森氏を予定している。
- 2) 瀬古氏との議事録が出来たので、内容確認をおねがいしている。
- 3) 鳥人間コンテストに関する記事などがHPにアップした。
- 4) 北千住に関する情報をアップする企画 (EX. 「北千住特集」など) を進めている。
- 5) その他、各委員会の議事録のアップの実施に関する依頼。
(決定事項)
- 6) HPで取り組む内容など提案を募集します。事業委員会で収集した北千住に関する各種資料を橘氏から相原氏に提供する事になった。
- 7) 次回の幹事会の北千住付近で開催できないか、あるいは見学会を開催するか検討する。
広報委員会で下調べをすることとなった。

(3) 準会員支援委員会 (林委員長)

(承認事項)

- 1) 丹羽賞・同窓会奨励賞の選考を行った。(16件の申請があり、丹羽賞6団体/同窓会奨励賞5団体を選出した。) →承認された。
- 2) 選考基準が不明瞭であり、申請文書のみで選考に当り委員のポイント制で選考したので、公平性と透明性を高めるため、申請様式の研究を進めていく事とした。 →承認された。
(報告事項)
- 1) 錦祭のOB懇談会について、学生支援センターとコンタクトを取りながら同窓会として支援していく。
- 2) 理工学部国際野外表現展比企学生団体部より支援要請があった。内容を吟味の上精査し結論を出す予定。
- 3) 「2008年全日本学生ソーラー&FCカーチャンピオンシップ IN 秋田」に出場し、「燃料電池カー」部門で優勝した。これは2年連続の快挙である。
(決定事項)
- 4) 丹羽賞・同窓会奨励賞への応募申請が年々減少しているが、クラブ活動が低迷しているのか学園事務サイドの宣伝不足か、学園担当者へのヒアリングを実施する事になった。クラブ活動が低迷しているのであれば、表彰のあり方も変えざるを得なくなる。活動団体のリストと表彰記録の調査も行う。千葉キャンパスからの応募がない事も含めて、調査・見直しを行うこととなった。

(4) 事業委員会 (本橋委員長)

(承認事項)

- 1) 旅行会について集合時間などの説明があり承認された。
- 2) 参加者は幹事 17 名一般 17 名合計 34 名。目標 50 名と言う事で幹事からの参加を募ったところ、5 名の参加者と 2 名の保留者、2 名の不参加者という結果になった。

(報告事項)

- 1) 鳩山祭に卒業生談話室の出展(12時～16時)の報告があった。料理は錦電サービスへ注文し、案内方法については、検討中。
- 2) OBを接待する場所を設けた。卒業生の動向検索などのサービスも試行する。
- 3) 接待係が4名決まった。(野島/三好/鈴木/高見澤)
- 4) 11/2にはOB交歓会が開催される。(PM17:00から)

(5) 総務委員会(枅川委員長)

(報告事項)

- 1) 前記予算の執行状況の確認結果ならびに資産状況の検討を行った結果が報告された。
- 2) 収支決算書について説明があった。「校友会の旗」の作成など
- 3) クラス会や研究会OB会などの活動状況の調査については、校友会を通して調査する。また、

(検討事項)

- 1) 資産の運用/有効利用について、「同窓会設立30周年」と「工学部/未来科学部の北千住移転」がほぼ重なる事を考慮して、記念イベントの開催とモニュメント設置など委員会を立ち上げることも検討する。

(決定事項)

- 2) 同窓会が資産を持つ事について、校友会が一般社団法人になる事とも絡めて審議していく必要がある。北千住移転や60周年記念などに有効利用を早急に進める事に決まった。(校友会は公益事業に使う計画書が求められている。)→野崎さんが調査する事となった。
- 3)

2. その他

(1) 委員会開催報告書について

- 1) 「承認事項」と「報告事項」に分けて記載し、資料に沿って審議することが提案され検討することとした。
- 2) 工学情報に初代学長丹羽保次郎の最終講義から「若き技術者に贈る」が載っているが、古田学長も読まれていた事に感謝を表明します。

以上